

今回の意見交換会を、今後どのような形で役立てていこうとお考えですか。	今回の意見交換会について改善した方が良い点がありましたらご記入をお願いします。	参考になったこと、印象に残ったことは何ですか	ご感想、ご意見、これから聞いてみたいテーマなど
生産地に行ったり生産者と交流する機会の時に、今回得た学びを引き出せば、また違う視点で見れるのではないかな。	一消費者としては、少し内容が難しかった。学習会という形だと「聞く側」「話す側」の境目が大きく、互いにコミュニケーションをとるという手法としては難しい。一編のテーブルでわいわい話せる仕組みづくりや聞く側が参加する手法(ゲームやクイズ形式)を取り入れる方が参加した実感がわく。	交配と遺伝子組み換えが違うということ	アンケート記入時にしかしいの方がずっと話していたので集中しにくかった。 何を食べればよいかわからなくなった。遺伝子組み換えでないものは高いのでそちらの方が身体にはよいのかと思っていた。「知らない人が多い」ではなく「発信力の不足だ」と思います。
食育で、子どもたちや保護者の方に話をするとき、伝える機会があれば、正しい情報として伝えられたらと思う。		日本ではまだあまり遺伝子組み換え食品は販売されていないということがわかりました。	遺伝子組み換えのやり方について、少しわかったような気がします。
食品表示に対する見方が変わった。何について書かれているかわかるだけでも違う。これから、食品表示についてよくいてみようと思う。食品選びの大事な要素なのでしっかり活用できるようにしたい。	今回の講演の資料が欲しい。	遺伝子組み換え自体のことがよく理解できました。今まで持っていたネガティブなイメージが違っていたのだと感じました。	知ることにより安心につながるのだと実感しました。
遺伝子組み換え食品なのかな?という商品の時に、表示を見ながら購入に役立てていきたい。	分かりやすく今後に役立てていきたいと思った。	食物の安定供給のために、遺伝子組み換えや添加物は必要なものであり、これらはしっかりと研究、検証されているので、適正に使っていくことが大事なのだと感じた。	先生のお話は丁寧で大変分かりやすかったです。高校の生物も思い出しながら、とても興味深い分野だと思いました。楽しかったです。
佐々先生の語り口が優しく、とても内容が分かりやすかった。消費者へ今回学んだことを伝えていきたい。		消費者の意識について「不使用」が帰って不安感につながっているということ。どう伝えるかは重要であると同時に難しいと感じました。	
	スクリーンの子が小さい。見にくかった。紙の資料が欲しい。	不使用表示は不安をあおることにもなるということ。	有機農業でも使われているBt毒素を組み込んだトウモロコシは科学的に安全だと思うが、人によってはトウモロコシに別の生物の遺伝子を組み込んだのは怖いと感じることもあると思う。科学的に安全というのと何となく不安という2つの考えがあるのは仕方がないが、その差を埋めるためにリスクコミュニケーションが重要だと思う。
表示改訂を機に、表示を開心を持って見ていこうと思う。			表示改訂を機に「遺伝子組み換えでない」と表示する条件が厳しくなったため、同表記が減ると考えられる。不使用表示を減らすことで、不安をあおらないようにしようという意図が働いたのか。純粹に消費者のためグレーだった表示を適正にしようという意図だったのか。
非常に先生のお話が分かりやすく、よかったです。ありがとうございます。		遺伝子組み換えの内容について理解が深まりました。最初のクイズも面白かったです。自分の知識のなさにもびっくりしました。意見交換の内容のご説明もとてもわかりやすかったです。	
自らの判断のもと、食品を選んでいきたいと思う。	せっかくの機会ですが、参加者が少ないのが残念です。土曜日開催ということもあり、参加しづらかった人も多かったのではないのでしょうか。		字が小さくてデータも多くてわかりにくい。イラストも多くてわかりにくい。紙の資料があると振り返りができると思う。
日頃の食品購入時に、目の付けどころに役立てたい。		安全・安心はイコールではなく、信頼のもと、食品の安全性の確保として行っている事項	遺伝子組み換え食品に対して少しマイナスな気持ちがあったけど、今から食料難になっていくことを考えると安定供給に大事なことなのでおいしいものを食べるためには大切なのを感じました。
今回得た知識を職場や家庭で活かす。		「～でない」表示が、不安を招いていることに納得しました。よく理解せず、言葉からイメージしていることは大きいと思います。	表示の仕方を変えることは心理的にとても有効な方法ではないかと思いました。どうしても輸入に頼ることの多い日本は海外のこともよく知らないので海外の基準や取り組みの日本へのつながりについても聞いてみたい。食品の安定供給は大きなテーマなのだと実感です。
	イベント発信するのに、アプリやLINEでの方法があればと思います。	・遺伝子組み換えの研究がおこなわれていること ・表示について、日本の食品には遺伝子組み換えが少ないように思いました。	
食品の安全・安心について、理解を今後深めていきたいと思います。		遺伝子組み換えは必要だと思いました。自分の目で見て購入します。	
ゲノム編集は耳にするようになったので、注目していきたいと思う。		遺伝子組み換えやゲノム編集などの技術に対して、サイエンスの視点で話を聞く場が実はあまりないと思っている。観念的なものが多いような。今日はいい機会になった。	
改めて、食品表示などの情報を正しく知るべきだと思います。	遺伝子組み換えは変に作物を多く作るためのものではないことを知り、成分や含有量を高める目的もあることなど、深く知りたと思いました。	「じゃない表示」に関しては全くその通りだと思う。	
表示などに気をつけてみたり、情報を得る機会があれば参加したいと思いました。			ゲノム編集
今回の意見交換会で得た情報・知識を生産者理解につなげていけたらと思います。		遺伝子組み換え食品の安全性は理解できた	何事にも正確に情報を得ないと不安がある。自分自身が積極的に情報を得ることが必要であると思う。一方で農業を守っていくことの必要性も感じる。
	とても良い内容だったので、広報を強化したほうがよいと思います。	安定供給の考え方。良いものをいつまでも食するために	
実際の買い物時にも注意深く見たいと思います。また自分自身でももう少し情報を得ていきたいと思います。	今日のお話の資料が手元になればよかったなと思います。(今後の勉強のためにも、スライドは字もちいさかったです。)	神農伝説、神農本草経と化学物質の安全性評価について	重要なところだけでよいので資料を配布してもらえたら幸いです。
自分が関係する団体の活動などに活かしていきたいです。	パワーポイントの資料が欲しかった。細かい文字が見えづらくて残念でした。オンラインで何人くらい視聴されていたかわかりませんが、せっかくのいいお話だったのでもう少し多くの方に聞いていただけたらと思います。	でないの表示があるからその不安というのは、とてもよくわかります。表示に踊らされず情報を得たいと思いました。	何となく拒否感の強い「遺伝子組み換え」でしたが、受け入れられる気持ちになりました。ありがとうございます。
正しい知識を得られたので、偏った見方をせず食品を見ていきたいし、伝えていきたい。		遺伝子組み換え食品の安全性基準、規格基準の審査がきちんとされていること。	栄養が高く、また栽培しやすい食物の終了を増やすためには、必要なことかと考え直すことができました。
教えていただいた内容を、身の回りの人から少しずつ情報共有していこうと思いました。	オンライン参加でした。画面にスライドが表示されて内容は分かりやすかったと思いますが、先生のお顔や表情、手に何か持っておられる様子などが見えなかったのは少し残念な気がしました。	日本には研究の歴史があり、厳しい規則基準がある。	安心と思うか?は自由であるという言葉は深いと思った。情報を受け取り、どう判断し、取り入れていくか、個々にゆだねられていると思う。国民もしっかりと意見を述べ安全に暮らすことを考えていく仕組みをしっかりと作ることが必要だと思った。
		遺伝子組み換えは育種技術の一つだということが参考になりました。	「最も大切なことは安定供給」というフレーズに共感するものがありました。国土が狭い日本にとって遺伝子組み換え食品は必要になる未来がくるのでは...と感じました。
		花(植物)など、青い胡蝶蘭の美しさ、...食品でないものは、遺伝子組換えも素晴らしいと思いました。	どら焼き1個(袋詰めビニール袋)、県内産良質材料を使用しているということ。若いお母さんたちが安心して購入したいと思うような表現にしたらいかがでしょうか。添加物いっぱい甘いケーキを子どもたちもお母さんたちも表示を見ないで買っているように思います。